

平成 25 年 11 月 21 日  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
代表取締役社長 野崎 秀則

## 「女性コンサルタントのキャリアパスとワークライフバランス」 をテーマとした 意見交換会を開催

日本コンサルティング・エンジニア協会主催の同会議では、弊社の岸田こずえさん（関東支店 河川港湾部副主幹）、北條有美子さん（同 地下構造部技師）らが出席し、女性コンサルタントとして活躍している現状を通して、自らの将来キャリアや、仕事とプライベートの両立（ワークライフバランス）について、女性ならではの観点から議論を展開しました。

なお、弊社では、今年から「情熱とやりがいプロジェクト」を立ち上げ、社員一人一人が実感する情熱とやりがいの共有、会社の魅力向上を目的に、総合的な取り組みを推進しています。

その取り組みの一環として、「就業環境の改善、ワークライフバランス」についても位置づけ、業界一斉ノー残業デーへの参画、長期休暇の完全取得、メリハリのある就業環境の実現などの施策も行っています。

<本資料に関するお問い合わせ先>  
株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011  
URL: <http://www.oriconsul.com/>  
本社・統括本部 三百田、伊藤



経験を披露した手前左から  
岸田、長井、前田の3氏

日本コンサルティンク・エンジニア協会(AJCE、廣瀬典昭会長)は、15日に東京都渋谷区のアリエンタルコンサルタンツで「私たちのワークスタイル」女性コンサルタンのキャリアパスとワークライフバランス」をテーマに意見交換会を開いた。建設コンサルタントに勤める女性社員18人が参加。管理職に就くベテラン3人が自身の経験を披露したほか、若手・中

### 女性コンサルのワークスタイルで意見交換 AJCE

堅とともに働きやすさや、仕事とプライベートの両立などについて語り合った。

経験を発表したのは、岸田(すえ)オリエンタルコンサルタンツ、長井圭子(コージェイ総合研究所)、前田千夏(日水コ)の3氏。

岸田氏は夫が大阪在住で東京に単身赴任しているため、「仕事とプライベートのめりはりがつき、休日を用意に大切に過

で以前からの人間関係にも助けられ、おおむね働きやすい。家族の協力や理解もあり恵まれた環境」と現状を分析。さらに「上司も人間だし、男性の方がナイーブ。メンツをつぶさず、普段から良好な関係を築く。ま

るコミュニケーションを大切にしている」と周囲との関係に良好に保つ秘けつを披露した。田氏は「長く休むと取り残され

AJCEの会員各社は「子育て支援ワーキングの立ち上げ」「在宅勤務の試行」「フリー残業デーの実施」「フレックス制度

## 支援制度、使いながら良いものに

### フォローし合える人間関係・組織体制を

「すようになった」と生活が充実していることを説明。一方で「週末は可能な限り大阪に帰るので体力的につらい。両親や祖父母の介護ですぐに駆け付けられない」といった不安も吐露した。

日本工管に一般職で入社して総合職に転換、その後大学院、研究機関を経て35歳で現在の会社に入った長井氏は「親会社(日本工管)と社風が大体同じ

るのではと不安だった。子どもの導入」などをまなまな支援制度を整えているが、若手・中堅からは「使っている人は極めて少ない」など課題を指摘する声も少なくなかった。これに対し

「子育てで学んだ法的支援の活用などが生かされている」などと語り、「こうした経験を踏まえ、ワークライフバランスに必要なとエールが送られた。



参加者で記念撮影

不安があったが、やってみるとどうにかなる。ステップアップのタイミングを大切にしてい」とアドバイスした。

岸田氏は「役職を与えられるということは評価を受けているということ。ポストが人を成長させる。不安もあると思うが、拒まずにチャンスを生かした方がよい」と強調。長井氏も「やってみてから考え、駄目なら辞めればよい。プロジェクトのリーダーに就くという形のキャリアアップの方法もある。自分で納得のできる品質の仕事ができる」と管理職としての楽しさがあることを伝えた。

仕事とプライベートの両立に関しては、「仕事を効率化して自分の時間を確保」「休日は趣味に費やす」「土日は会社の人に会わない」など各自の工夫・流儀を紹介。両立には周囲の協力が大事で、「無理をせず上司に甘える」「管理職も無理はしない」というフォローし合える人間関係・組織体制を築くことの重要性が指摘された。

キャリアアップについて若手・中堅は「任せられる仕事の幅が広がる」「仕事が楽しいうちにはキャリアアップしたい」という前向きな意見が出る一方、「結婚や出産などを考えるとき、結核や出産などを考えるとき、イミダが難しい」など不安を漏らす声も出た。前田氏は「私も自身も務まらないのでは」という